



## ● 東大ブリッジ授業の受講生たち

東大ブリッジ授業のアシスタントをしてくださっている方から、ご報告をいただきましたのでご紹介します。

担当教授の方、もうお一人のアシスタントの方とともに、試行錯誤を繰り返しながら、東大生に授業という形でブリッジを紹介しています。学生たちは皆まじめでおとなしく、よく勉強するという印象ですが、たまにはちょっと変わった子に出会うこともあります。今まであったいろいろな出会いや出来事の中から、印象に残っていることをご紹介します。

アルバイトのため今日の授業休みます

こんなメールが届いたことがありました。正直というか、最初はとても驚きました。もう少し尤もらしい欠席理由を書いてくるものだと思っていたからです。その子にとっては優先順位がブリッジ授業よりアルバイトだったようです。

### 【宿題コピー事件】

授業は学生の自主性と理解力を頼りにかなり早いペースで進んでいきます。ビデオやスコア計算の宿題も出ます。あるとき記入済み解答用紙がコピーされたものが提出されました。名前のところは工夫は施されてはいたものの、どう見てもコピーで確信犯的行為です。その学生のところへ行き、これは受け取れないと言いましたが、あれこれとゴタクを並べて対抗してきます。実に堂々とした言い訳でした。しばし沈黙のあと、私は「分かりました。受理します。」と引き上げました。次の週以降も答えはやはり友人のものを写したものでしたが、手書きになりました。他にも友人のやったものを写している子がいて、だれとだれの宿題がセットが発見するのが、採点時のささやかな楽しみになりました。宿題はあくまでもブリッジを学ぶ手段で、結果は関係ないと言っているのですが。

### 【授業評価】

すべての授業終了後、学生たちは自分の受けた授業の評価をします。マークシート方式でいくつかのアンケートに答えます。教える側が評価される。これは私が学生だったころにはなかったことなので驚きました。この結果は事務で取りまとめられ公表されているようです。それとは別に、学生たちは独自に授業の評判を載せている口コミサイトを持っているようです。あるとき、ある学生から、「ブリッジの授業は予習や宿題が多くて大変だ、甘く見ないほうがいい。」と書かれているという話を聞きました。そんなことを書かれては希望者が減ってしまうのではないかと心配しました。実際どの程度の影響力があるのかはわかりませんが口コミは馬鹿に出来ないと思います。

### 【ギャルファッション】

1クラスに女子はたいてい2~3名です。ある期の女子学生の中にまるでギャル雑誌から抜け出たような服装で私たちの目を楽しませてくれた子がいました。基本は不思議な重ね着でしたが、超ミニスカートあり、胸が

パッキリあいたドキドキの服あり、履くのがすごく大変そうなブーツありで、はらはらしながらも今週はどんな格好で現れるのかとひそかに楽しみにしていたものです。

留学生もいました。韓国、中国、モンゴル、オーストラリアからの学生が受講しました。今後も授業は続きます。ユニークな学生に出会えるのを楽しみにしています。いつかブリッジ会場で元受講生に再会する日が来ることも。

(2009年8月、東京都、T.W.様)

### ● 長崎居留地まつりブリッジ大会のご報告 (9月19日)

2009年9月19日に「第2回長崎居留地まつりブリッジ大会」が開催されました。東京、山口、福岡など長崎県外から17名、地元長崎から25名、計42名の初心者が国の重要文化財にも指定されている旧香港上海銀行を会場に朝から計30ボードに真剣に取り組みました。100年前には実際に銀行業務が行われていたという石造りの洋館で、中にはチャイナドレス姿での参加者も見られ、高い天井の雰囲気ある会場で真剣にカードに向き合う姿は、とても初心者とは思えない厳かな？雰囲気に満ち溢れていました。会場は一般観光客にも開放されており、時折訪れる観光客にカウンター越しにのぞかれながらの大会でした。最後にはカステラや地酒ほかお土産や賞品もたくさん用意されていて、真剣ながらも初心者同士の楽しい交流もできた中身の濃い大会になりました。

大会終了後は同じ会場でダンスパーティーが開かれ、ブリッジメンバーも6名参加されて、こちらも大いに楽しまれたようでした。



(2009年10月、長崎県、M.S.様)